

戦前に建てられた家屋等の素材を有効活用

大手前通りみちだより

No14

発行所

松江県土整備事務所
TEL0852(32)5755
松江市役所都市計画部
都市計画課
TEL0852(55)5380



歴史的な素材をみちづくり!

来待石・島石 大海崎石 大手前通り沿いの家屋

大手前通りの整備事業に着手してから二年二ヶ月が経過しました。今日まで、みちづくりまちづくりワークショップ、商工会議所中心市街地活性化委員会との意見交換、各四地区のまちづくりを考える会、関係者の方々との対話等々、機

会ある毎にみちづくりに関する様々なご意見を伺ってまいりました。数多くのみちづくりに関するご意見の中で、今ある石積みのみちづくりに活かさないか?今の景観を形成している歴史的なもののみちづくりに活かさないか?とのご意見が多く寄せられています。家屋解体が進む中で、家屋の土台や石積みに使われている石の多くが来待石・大海崎石・島石であることが分りました。これら石は、江戸時代「おん止め石」として

藩外に持ち出しを禁止されるほど重要視されていました。道路沿いの建物で太平洋戦争以前に建てられたのは、調査の結果約二十棟ありました。県では、大手前通りの景観を形成している道路沿いの建物の基礎石等を縁石やベンチ等のみちの素材として有効活用したいと考えています。

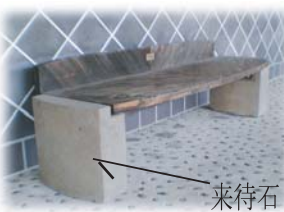
活用事例としては、ベンチや歩道と民地の境界に置く縁石等が考えられます。左下の写真は、奥出雲町の駅近くに置いてある来待石を使ったベンチ。左上は、大阪御堂筋で縁石に石を使った事例です。



家屋の土台として使われていた来待石(写真上)



縁石



来待石

江戸時代 石は、松江の周りから船で運ばれてきました

来待石

凝灰質砂岩
やや黒っぽい灰色で、柔らかい
江戸時代には、「おん止め石」として藩外に持ち出しを禁じられるほど重要視されていました。

嫁ヶ島石

カンラン石粗面玄武岩
黒く、硬い

忌部石

複輝石安山岩
青黒く、硬い

島石 (大根島)

カンラン玄武岩
黒く、硬い 表面に小さな穴があいています。
「おん止め石」として重要視されていました。

大海崎石

角閃石粗面安山岩
淡い灰色 又は、淡い桃色
「おん止め石」として重要視されていました。

矢田石

角閃石粗面玄武岩
青黒く、硬い



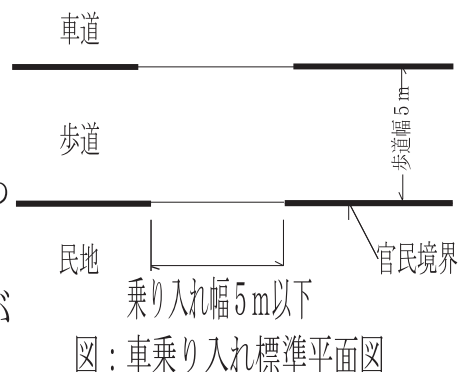
質問コーナー

質問：駐車場から車道に出るための出入り口幅を車10台分開けることができますか？

回答：基準では、普通車1台で出入り口幅3m以下、2台以上で最大5mまで開けることができます。

これは、むやみに出入り口を広く開けると歩道が車の回転場となったり、歩道を車が縦断走行するため、それらを防ぎ歩行者や自転車の安全を確保するためです。

駐車場付き住宅や駐車場をお考えの方は、詳しい設計が完了する前にご相談ください。



駐車場出入り口参考事例



新年号クイズの答え

12月20日～1月11日までの22日間
電気代 **580円** でした。



シリーズ昔の松江(その2)



※昭和初期に撮影された写真です。大橋川と松江大橋

新旧「家」雑感

だるま堂書店 桑原 弘

「お宅の店の幕が下りたままなっていると、寂しいですね」と、何人もの人たちから云われた。

建物が解体され、角地がポツカリあって、町の人達は、一層その感を強めたのだろうか。

昭和十四年にあるこの角に移って以来、六十年にわたって生活し、両親の死を見送ったのもあの家だったし、子供たち二人が生まれたのも、あの家の二階だった。

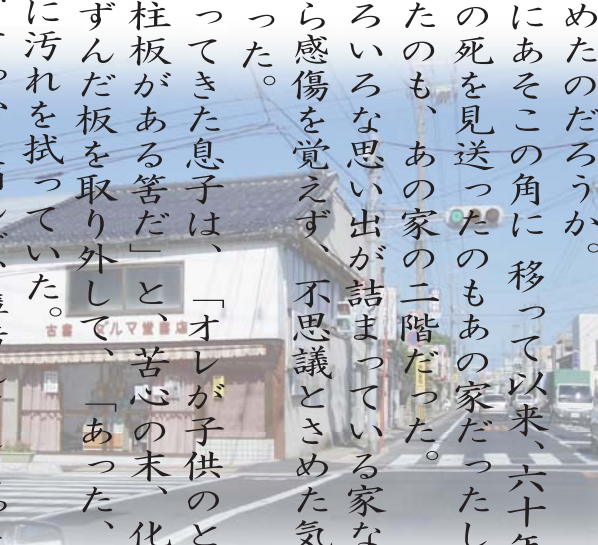
永い間のいろいろな思い出が詰まっている家なのに、当の本人はことさら感傷を覚えず、不思議とさめた気持ちでいられるのは妙だった。

横浜から帰ってきた息子は、「オレが子供のとき、背丈の伸びを刻んだ柱板がある筈だ」と、苦心の末、化粧板の下に残っていた黒ずんだ板を取り外して、「あった、あった」と、いとおしそうに汚れを拭っていた。

築後四十年、すっかり痛んで、薄汚れてしまった狭い風呂場。家具や畳を取っ払った部屋は、ガラスと殺風景でほこりだらけ。小判の代わりに隅から小鼠のミイラが一つ出てきた。

トラックが通れば、地震のように震えるこのボロツチイ家に、よく我慢して何十年住んでいたなあと、我ながら感心した。

昔からこの場所にある古本屋が無くなることを惜しんで、お客さんの方が 寫真を撮ってもって来て頂いたりした。



ふだんは親の方も振り向こうとしないカー・キチの息子が、友人の設計士と相談して改造してくれた新居は、家中段差の無いバリアフリーとかいう奴。将来の安全をおもんばかり、トイレの中にまで肘掛けを設けてくれたのは余分だったが、ベッドは楽で好い。

「どっこいしょ」と、一々起き上がらなくてもいいから。それでも一回だけ転げ落ちた。でも慣れた。

あと十年もない残された人生……。楽で、綺麗で、快適な方がいい。亡き親たちや、子や孫たちの小さい頃の思い出は、自分の記憶の中の家に大事にしまっておけばいいと思っています。

引越され、新たな生活を始められている桑原さんに今のお気持ちを綴って頂きました。ありがとうございます。

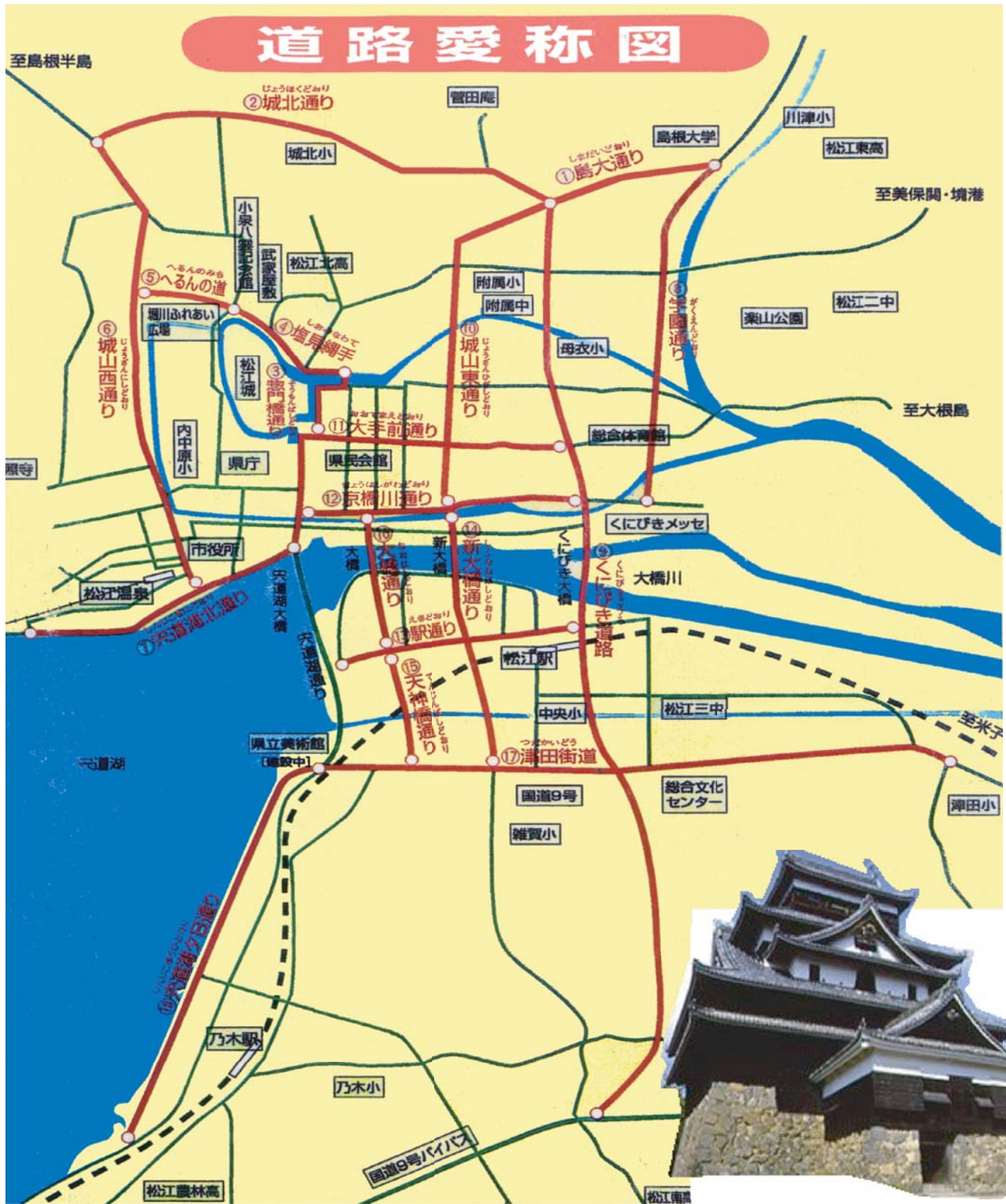
編集スタッフ

だるま堂書店さんは、東京橋北詰で営業を継続されています。



インターネット中心で、店舗は土曜、日曜だけ午前10時～午後6時の間、開店しております。
住所：島根県松江市母衣町2-1
電話番号：0852-21-1074 <http://darumado.j96.org/>





- 用地補償に関するお問い合わせ
 松江県土整備事務所 用地第3グループ
 Tel.0852(32)5692
- 設計工事に関するお問い合わせ
 松江県土整備事務所 都市整備グループ
 Tel.0852(32)5755
- まちづくりに関するお問い合わせ
 松江市役所 都市計画部 都市計画課
 Tel.0852(55)5380

編集スタッフより



“大手前通りみちだより”に関するご意見をお寄せください。
 みなさまに喜んでお読みいただける紙面づくりを心がけています。
 だよりは、インターネットでもご覧いただけます。